



学校だより

平成28年11月25日

横浜市立高田中学校

12月号(第28-09号) TEL: 591-4183 校長 福田 之男

「幸せ」が芽生えるところ～世界人権デーを考える～

副校長 鬼丸 玲子

街路樹もすっかり紅葉し、秋の深まりを感じられます。ふと気がつくと、2016年もあと1ヶ月。今年一年を振り返る時期になってきました。

みなさん、今年一年「幸せ」でしたか？

いきなりそんなこと言われても、どう答えて良いのか分からないし、そもそも「幸せ」の感じ方は人によってちがうものだし、照れくさいですね。

では、現代の日本人の子どもは「幸せ」なのでしょうか？

「世界がもし100人の村だったら」という本があります。そのシリーズに「子ども編」(池田香代子+マガジンハウス編)があります。その中にこんな一節があります。

世界の子ども100人のうち 小学校に行くのは 87人です。
中学校に行くのは 40人です。
そのうち20人は、とちゅうでやめました。60人は、はじめから行っていません。
子どもたちが中学校に行かないのは、貧しさや、戦争や、飢饉のためです。

そして、その本の最後のページはこう締めくくられています。

・・・人びとがしあわせになるためには・・・
5つのことが満たされればいい、と。
1つめは、きれいな空気と土と水
2つめは、災害や戦争のために
ふるさとを離れなくてすむこと
3つめは、予防をふくむ基礎的な医療をうけられること
4つめは、基礎的な教育をうけられること
そして5つめは、伝統文化に誇りをもち、
それらを楽しむことができること。
・・・



12月10日は世界人権デー(4日～10日が人権週間)です。

自分を大切にして、家族や仲間、あなたを支えてくれるまわりの人たちを大切にして、感謝しながら、毎日を過ごせる人になって欲しいと思います。

そこにこそ、「幸せ」が芽生えるのではないかと思います。

授業参観・PTAバザー

10月22日(土)に授業参観とPTAバザーが開催されました。当日は天候に恵まれ、授業参観、バザーともに、大勢の方が参加されました。

バザーでは、武道場での献品の販売や個別支援学級生徒が製作したティッシュペーパーボックスカバーや世界各国の国旗のアクセサリ、標準服リサイクルの販売等がありました。中庭と駐車場では、おやおやの会(おやじの会、花と緑の会、硬式テニスの会、茶道の会、ヨガの会)の焼きそばと焼き鳥の販売、バザー委員会のカレー、豚汁など食べ物や花や野菜の販売が行われ、ブースによっては、列もできていました。

生徒は、学校での飲食や買い物など普段の学校生活とは違った体験ができ、とても楽しんでいました。バザー委員会のみなさんをはじめとするPTAバザーにご協力いただいた保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。



学校運営協議会

10月21日(金)に第3回学校運営協議会が開催されました。今回の学校運営協議会は、当日開催されていた高田祭をご覧いただき、その後生徒の活動の様子や日常の生徒の様子についての感想や意見が交換されました。委員の皆さまからは次のような感想・意見をいただきました。

《高田祭について》

- 生徒に一体感があった。授業と違った生徒の様子が見られてよかった。
- 完成度が高く、指導されていると感じた。英語スピーチ、映像、5・6組の演奏が素晴らしかった。司会も上手だった。3年のポートフォリオもすてきだった。
- 子どもたちが「やりたいことを実現している」という姿、楽しんでいるのがよくわかった。

《日常の生徒の様子について》

- 挨拶もよくしてくれるし、礼儀正しい子が多い。
- 第4回学校運営協議会は、2月下旬に実施する予定です。次回については、

授業を参観していただき、意見をいただくとともに、1年間の教育活動についての振り返りを行う予定です。

個別支援学級 港北区合同宿泊学習会

11月15日、16日に港北区中学校個別支援学級合同宿泊学習会があり、神奈川県立愛川ふれあいの村に行ってきました。

この宿泊では学校の枠を外して、班構成されます。その中でも高田中の生徒は班長、副班長を務めたり、レク活動の司会や終わりの言葉、朝の集いの挨拶、体操の見本を務めたりするなど様々なところで大活躍しました。



1日目はバスレクから始まりました。時間をかけ計画したバスレクは盛り上がり、大成功でした。その後、相模川ふれあい科学館の散策、レク活動を行いました。学校対抗で行われたじゃんけん列車では入念に作戦を立てて挑みました。結果は残念ながら頂点に立つことはできませんでしたが、みんなで楽しむことができました。

2日目は野外炊事でカレー作りです。野菜を切ったり、かまどで火をおこしたりと、班の仲間と協力して一生懸命作っていました。途中、火がうまくつかなかったり、玉ねぎを切って涙を流したりするなど苦戦していましたが、それぞれの班でおいしいカレーを完成させることができました。

二日間を通して、みんなを引っ張ろうとする姿、盛り上げようとする姿、一生懸命に取り組む姿など子どもたちの頑張るすてきな姿をたくさん見ることができました。

おやおやの会（華道の会）作品



全国学力・学習状況調査 結果について

3年生で実施した平成28年度全国学力・学習状況調査（4月19日実施、国数）の結果について報告いたします。

図1. 生徒質問紙（全国標準との比較）

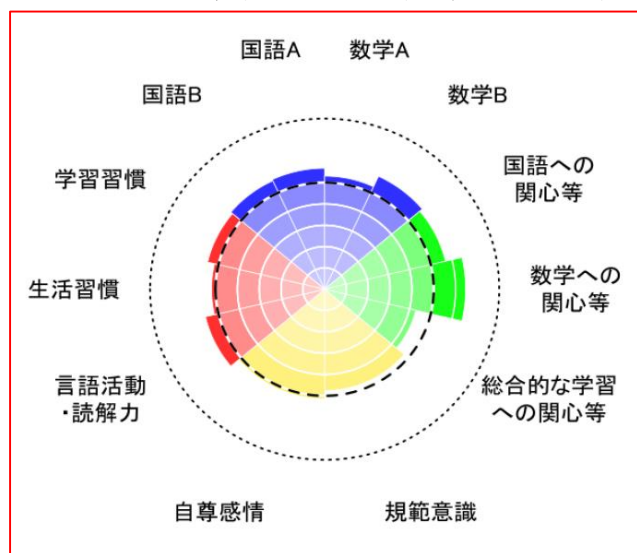


図2. 学校質問紙（全国標準との比較）

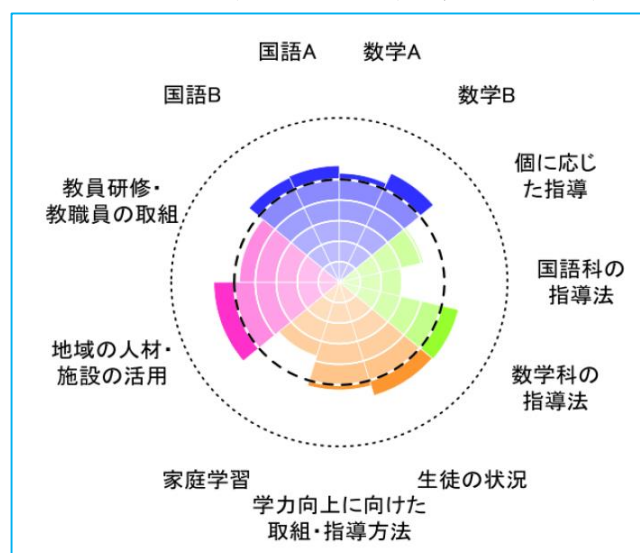


図1, 図2とも内側の破線状の円は、全国平均値を表しています。

図1（生徒質問紙結果）から、国語、数学の2教科とも全国標準値を上回っています。また、得点だけでなく、その他の領域においても、全国水準をほぼ越えており、生徒たちが日々積み重ねてきた努力が結果となって表れています。※神奈川県標準値でも同様の結果

今回の結果から特徴的な点として「国語と数学への学習に対する関心が高い」ということをあげることができます。高田中学校では、これまで小中一貫教育の推進や授業力向上の研究を進めてきており、また本年度より朝10分間の「高田の時間」を導入しております。これらの取組は、学校教育目標『ストリートスマートの育成』だけに留まらず、今後社会で必要とされる力を身につけるアクティブラーニングのきっかけになると考えています。学校としての取組を明確にすることにより、少しずつ結果として表れてきていると考えています。これからも、生徒たちの高い興味や関心に十分に答えるべく、指導法も常に改善を図っていきます。

今回の生徒アンケートから生活習慣について、大きく2点の課題があげられます。1点目は、携帯電話、スマートフォンの利用についてです。「1日の利用時間が4時間以上」の生徒の割合が11.5%（全国標準は8.6%）。「3時間以上が4時間以下」が10.5%。（全国標準は8.0%）です。2点目は普段の就寝時間です。「午後11時～午前0時」の生徒の割合が45.8%（全国標準は41.6%）。「午前0時以降」が27.1%（全国標準は21.5%）です。これからの結果より、携帯電話、スマートフォンによるドライアイや寝不足が懸念されます。現在では、コミュニケーションツールの1つとして普及しておりますが、携帯電話、スマートフォンの使用についてや睡眠時間の大切さを改めて生徒たちに指導していくことの重要性を感じております。